

# ナカカルまちづくりアンケートの結果概要

本アンケートは、中軽井沢駅周辺エリアのまちの現状や課題、魅力について幅広く住民等の意向を把握するとともに、ナカカルAPの認知度や参加意向、今後のまちづくりの方向性や取組に対する関心度等を把握することを目的に実施したものです。

令和8年1月30日～2月24日までの間、WEB回答方式(URLまたはQRコードからアクセスしてインターネットで回答)により実施し、計228名から回答を得ました。以下に結果の概要をまとめました。

## (1) 回答者の属性等

### ① 年代

問1	あなたの年齢を教えてください。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	10代	4	1.8
2	20代	24	10.5
3	30代	34	14.9
4	40代	71	31.1
5	50代	55	24.1
6	60代	27	11.8
7	70代以上	13	5.7
	合計	228	

・回答者の年齢は、40代が31.1%と最も多く、次いで50代が24.1%、30代が14.9%、60代が11.8%、20代が10.5%で、幅広い年齢層から回答を得た。

### ② 居住地

問2	お住まいの地域を教えてください。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	軽井沢町内(別荘利用を含む)	174	76.3
2	長野県内(軽井沢町外)	45	19.7
3	長野県外	9	3.9
	合計	228	

問2-1	お住まいの区名を教えてください。 ※択一回答	回答数	回答率(%)
1	中軽井沢	54	31.0
2	千ヶ滝	15	8.6
3	塩沢	11	6.3
4	借宿	11	6.3
5	追分	7	4.0
6	古宿	6	3.4
7	鳥井原	6	3.4
8	成沢	4	2.3
9	新軽井沢	3	1.7
10	離山	3	1.7
11	上発	3	1.3
12	星野	2	1.1
13	大日向	2	1.1
14	浅間台	2	0.9
15	旧軽井沢	1	0.6
16	南軽井沢	1	0.6
17	三ツ石	1	0.6
18	油井	1	0.6
19	杉瓜	1	0.4
20	風越団地	1	0.4
	その他(長倉)	25	14.4
	不明	14	8.0
	問2で「1」と回答した方の合計	174	

・回答者の居住地は、軽井沢町内が76.3%で、町内回答者のうち3割強が中軽井沢区であった。  
・県内他市町村および県外からの回答も合わせて2割程度あった。

## (2) 中軽井沢エリア中心部への来訪実態

### ① 中軽井沢エリア中心部への来訪頻度

問3	中軽井沢エリアの中心部を訪れる頻度を教えてください。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	年代				居住地		
				10代・20代	30代	40代	50代以上	町内	県内町外	県外
1	ほぼ毎日	117	51.3	71.4	64.7	47.9	43.2	48.3	68.9	22.2
2	週に1回以上	49	21.5	10.7	2.9	26.8	27.4	24.7	13.3	0.0
3	月に1、2回	41	18.0	10.7	26.5	15.5	18.9	18.4	13.3	33.3
4	年に数回程度	11	4.8	0.0	0.0	8.5	5.3	2.9	4.4	44.4
5	ほとんど行かない	1	0.4	3.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
6	一度も訪れたことがない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	中心部内に居住している	9	3.9	3.6	5.9	1.4	5.3	5.2	0.0	0.0
合計		228		28	34	71	95	174	45	9

- ・中軽井沢エリア中心部の来訪頻度は、「ほぼ毎日」が51.3%と半数を超え、次いで「週に1回以上」が21.5%で、合わせて7割以上が週に1回以上来訪していた。
- ・年代別にみると、「ほぼ毎日」は10代・20代が71.4%、30代が64.7%と高かった。居住地別では県内町外の「ほぼ毎日」が68.9%と高く、通勤・通学で来訪する回答者が多かったことがうかがえる。

### ② 子連れでの来訪経験

問9	中軽井沢エリアの中心部を、子ども(18歳未満)と一緒に訪れる(中心部内の居住者においては外出する)ことはありますか。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	年代			
				10代・20代	30代	40代	50代以上
1	よくある	24	10.6	3.7	11.8	19.7	5.3
2	ときどきある	34	15.0	7.4	20.6	25.4	7.4
3	ほとんどない	54	23.8	11.1	26.5	25.4	25.3
4	全くない	115	50.7	77.8	41.2	29.6	62.1
問3で「1」「2」「3」「4」「7」と回答した方の合計		227		27	34	71	95

問1×問9	子ども(18歳未満)と一緒に中心部を訪れる人の年齢構成 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順
1	10代	2	3.4
2	20代	1	1.7
3	30代	11	19.0
4	40代	32	55.2
5	50代	10	17.2
6	60代	0	0.0
7	70代以上	2	3.4
問9で「1」「2」と回答した方の合計		58	

- ・子ども(18歳未満)同伴での中軽井沢エリア中心部の来訪頻度は、全体では「よくある」、「ときどきある」が合わせて25.6%だが、年代別にみると40代ではその比率が55.2%と高く、半数以上が子連れで来訪していることがうかがえる。

### ③ 来訪目的

問4	中軽井沢エリアの中心部を訪れる目的を教えてください。 ※複数回答	年代				子連れ	居住地			
		回答数	回答率(%) ※回答率順	10代・20代	30代		40代	50代以上	町内	町外
1	通勤・通学	126	55.5	85.2	70.6	56.3	41.1	56.9	49.4	74.1
8	図書館・文化施設の利用	69	30.4	11.1	17.6	28.2	42.1	36.2	39.1	1.9
10	行政手続き(役場など)	59	26.0	7.4	29.4	18.3	35.8	29.3	33.3	1.9
3	食品・日用品の買い物	58	25.6	14.8	20.6	23.9	31.6	32.8	30.5	9.3
5	日中の飲食	42	18.5	11.1	20.6	14.1	23.2	20.7	20.1	13.0
6	夜間の飲食	39	17.2	11.1	14.7	19.7	17.9	19.0	19.5	9.3
7	散歩・公園利用	35	15.4	7.4	14.7	4.2	26.3	13.8	20.1	0.0
4	その他の買い物	25	11.0	3.7	8.8	9.9	14.7	12.1	10.3	13.0
11	イベント・催しへの参加	23	10.1	0.0	11.8	9.9	12.6	8.6	12.1	3.7
9	会合・会議	21	9.3	0.0	14.7	7.0	11.6	10.3	10.3	5.6
2	通院	19	8.4	0.0	2.9	1.4	17.9	1.7	10.9	0.0
12	その他	14	6.2	0.0	2.9	8.5	7.4	8.6	7.5	1.9
13	何の目的もなくふらっと来ることもある	7	3.1	3.7	2.9	5.6	1.1	6.9	3.4	1.9
問3で「1」「2」「3」「4」「7」と回答した方の合計		227		27	34	71	95	58	175	53

- ・中軽井沢エリア中心部を訪れる目的は、「通勤・通学」が55.5%で最も高く、年代別にみると、10代・20代は8割超、30代も約7割が「通勤・通学」での来訪となっている。また、子連れでの来訪目的も「通勤・通学」が56.9%と高いことから、送迎目的の来訪も多いことがうかがえる。
- ・他方、50代以上は「図書館・文化施設の利用」が42.1%と最多で、この年代は「散歩・公園利用」や「会合・会議」など、全体的に来訪目的が他の年代より多様であることがうかがえる。
- ・居住地別にみると、町外居住者では「通勤・通学」が74.1%と最多で、通勤・通学目的での来訪が中心であった。その他では、「日中の飲食」と「その他の買い物」が1割を超える回答を得た。

### ④ 来訪手段

問5	中軽井沢エリアの中心部を訪れる際の主な来訪手段を教えてください。 ※択一回答	年代				居住地			
		回答数	回答率(%) ※回答率順	10代・20代	30代	40代	50代以上	町内	町外
3	自動車	166	73.1	63.0	73.5	77.5	72.6	71.8	75.9
1	徒歩	33	14.5	18.5	11.8	9.9	17.9	18.4	1.9
2	自転車	12	5.3	3.7	2.9	5.6	6.3	6.9	0.0
4	電車	10	4.4	7.4	8.8	5.6	1.1	0.0	18.5
6	その他	3	1.3	3.7	2.9	0.0	1.1	1.1	1.9
5	バス	2	0.9	3.7	0.0	1.4	0.0	0.6	1.9
	無回答・無効	1	0.4	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
問3で「1」「2」「3」「4」「7」と回答した方の合計		227		27	34	71	95	95	95

- ・中軽井沢エリア中心部への来訪手段は73.1%が「自動車」、次いで「徒歩」が14.5%であった。
- ・「徒歩」は10代・20代や50代で、その比率が他の年代よりもやや高かった。
- ・「自転車」や「電車」での来訪はいずれも1割未満であった。
- ・居住地別にみると、町外居住者の来訪手段は2割弱が「電車」で、全体と比べて高い比率であった。

## ⑤ 月1回以上の頻度で来訪する施設や場所

問6	中軽井沢エリアの中心部で、おおむね月に1回以上の頻度で、利用する施設や訪れる場所を教えてください。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順	年代				子連れ	頻度	
				10代・20代	30代	40代	50代以上		高頻度	低頻度
7	食品・日用品の店舗	86	37.9	37.0	32.4	33.8	43.2	41.4	39.7	31.5
2	町役場	69	30.4	29.6	44.1	33.8	23.2	32.8	32.8	22.2
1	くつかけテラス	61	26.9	11.1	20.6	21.1	37.9	32.8	29.9	16.7
10	夜間営業の飲食店	51	22.5	25.9	20.6	21.1	23.2	27.6	25.9	11.1
9	日中営業の飲食店	50	22.0	29.6	26.5	16.9	22.1	17.2	21.8	22.2
3	中央公民館	37	16.3	25.9	20.6	14.1	13.7	22.4	17.2	13.0
5	軽井沢病院	27	11.9	3.7	8.8	7.0	18.9	8.6	12.6	9.3
8	その他の店舗	27	11.9	11.1	14.7	12.7	10.5	12.1	12.1	11.1
11	長倉公園(長倉神社)	25	11.0	11.1	8.8	7.0	14.7	15.5	13.8	1.9
14	とくにない	22	9.7	7.4	14.7	11.3	7.4	6.9	7.5	16.7
12	湯川河川敷	21	9.3	3.7	8.8	5.6	13.7	12.1	10.3	5.6
13	その他	19	8.4	3.7	5.9	4.2	13.7	6.9	8.6	7.4
6	診療所	8	3.5	0.0	2.9	5.6	3.2	5.2	3.4	3.7
4	商工会館	2	0.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
問3で「1」「2」「3」「4」「7」と回答した方の合計		227		27	34	71	95	58	175	53

- ・中軽井沢エリア中心部で、おおむね月に1回以上の頻度で利用する施設・訪問先は、「食品・日用品の店舗」が37.9%で最多、次いで「町役場」が30.4%、「くつかけテラス」が26.9%、「夜間営業の飲食店」、「日中営業の飲食店」の順で、上位5項目はいずれも2割以上であった。
- ・上位5項目のうち、「食品・日用品の店舗」と「日中営業の飲食店」は来訪頻度による差は小さいが、「町役場」、「くつかけテラス」、「夜間営業の飲食店」は高頻度の来訪者で高い傾向がみられた。
- ・年代別にみると、30代は「町役場」が最多で44.1%、50代以上は「くつかけテラス」が37.9%と高く、いずれも他の年代よりその比率が高い。一方、10代・20代は「中央公民館」が25.9%と、他の年代より高かった。
- ・飲食店の利用は、夜間、日中ともに10代・20代で高く、次いで30代の順となっている。
- ・「長倉公園(長倉神社)」や「湯川河川敷」は全体での比率は高くないものの、50代以上ではやや高い比率であった。

## ⑥ 来訪時の回遊性

問7	中軽井沢エリアの中心部を来訪される際、複数の施設や場所を巡ることが多いですか。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※回答率順	年代				頻度	
				10代・20代	30代	40代	50代以上	高頻度	低頻度
1	特定のお店や場所だけを利用する(訪れる)ことが多い	134	59.0	59.3	55.9	70.4	51.6	60.3	53.7
3	状況によって異なる	65	28.6	33.3	32.4	21.1	31.6	27.6	31.5
2	複数のお店や場所を巡ることが多い	25	11.0	7.4	5.9	7.0	16.8	10.9	11.1
4	わからない	3	1.3	0.0	5.9	1.4	0.0	1.7	0.0
問3で「1」「2」「3」「4」「7」と回答した方の合計		227		27	34	71	95	175	53

- ・中軽井沢エリア中心部来訪時に、「特定のお店や場所だけを利用する(訪れる)ことが多い」は約6割で、「複数のお店や場所を巡ることが多い」は1割強に留まった。

## ⑦ 来訪時の滞在時間

問8	通勤・通学や通院以外の目的で、中軽井沢エリアの中心部に来られた(中心部内の居住者においては外出された)場合、おおよそどのくらいの時間、滞在されますか。 ※択一回答			年代				来訪時の行動			
		回答数	回答率(%) ※選択肢順	10代・20代	30代	40代	50代以上	特定のお店や場所を利用	複数のお店や場所を巡る	状況によって異なる	わからない
1	通過するだけ/ほとんど滞在しない	43	18.9	22.2	23.5	19.7	15.8	20.1	4.0	20.0	66.7
2	30分未満	41	18.1	11.1	8.8	22.5	20.0	23.1	4.0	13.8	0.0
3	30分～1時間程度	63	27.8	25.9	35.3	18.3	32.6	26.9	28.0	29.2	33.3
4	1～2時間程度	45	19.8	25.9	14.7	19.7	20.0	14.2	40.0	24.6	0.0
5	2時間以上	35	15.4	14.8	17.6	19.7	11.6	15.7	24.0	12.3	0.0
問3で「1」「2」「3」「4」「7」と回答した方の合計		227		27	34	71	95	134	25	65	3

- ・中軽井沢エリア中心部に通勤・通学や通院以外で訪れた際の滞在時間は、「通過するだけ/ほとんど滞在しない」を合わせた30分未満が37%であった。他方、「30分～1時間程度」が27.8%で、「1～2時間程度」は19.8%、「2時間以上」は15.4%であった。
- ・年代別にみると30分未満の滞在は30代以下よりも、40代以上で高い傾向がみられた。
- ・来訪時の行動(問7)との関係性をみると、「特定のお店や場所を利用」する回答者は、30分未満の滞在の比率が高く、回遊性と滞在時間に関係性があることがうかがえる。

## (3) 中軽井沢エリア中心部の評価

### ① 利便性・居心地のよさ・過ごしやすさ

問10	中軽井沢エリアの中心部は、利便性や居心地の良さを含め、過ごしやすい(中心部内の居住者においては住みやすい)と感じますか。 ※択一回答			年代				頻度		居住地			中心部居住者
		回答数	回答率(%) ※選択肢順	10代・20代	30代	40代	50代以上	高頻度	低頻度	町内	県内町外	県外	
1	とても思う	26	11.4	25.0	14.7	5.6	10.5	10.8	11.3	13.2	4.4	11.1	22.2
2	まあ思う	107	46.9	42.9	38.2	52.1	47.4	51.2	32.1	48.3	42.2	44.4	55.6
3	あまりそう思わない	56	24.6	7.1	32.4	22.5	28.4	22.9	34.0	23.0	31.1	22.2	0.0
4	そう思わない	27	11.8	14.3	8.8	15.5	9.5	10.8	15.1	12.6	11.1	0.0	11.1
5	わからない	12	5.3	10.7	5.9	4.2	4.2	4.2	7.5	2.9	11.1	22.2	11.1
合計		228		28	34	71	95	175	53	174	45	9	9

- ・中軽井沢エリア中心部の利便性・過ごしやすさ・住みやすさは、6割近くが「とても思う」又は「まあ思う」と回答した。一方で「あまりそう思わない」「そう思わない」も合わせて3割強あった。
- ・年代別にみると、肯定的回答(「とても思う」「まあ思う」の合計)は10代・20代が他の年代よりやや高い。また、来訪頻度が高いほどその比率が高い。
- ・居住地別では、町内は「とても思う」の比率がやや高く、県内町外は「あまりそう思わない」の比率がやや高い。
- ・利用頻度別では高頻度利用者ほど肯定的評価が高く、低頻度利用者では肯定的回答が少ない傾向がみられた。
- ・中心部の居住者に限ってみると、8割近くが肯定的に回答しており、繰り返しの来訪や実際の居住を通じてよさを実感できる場であることがうかがえる。

## ② 魅力

問11	中軽井沢エリアの中心部の魅力や、よいところだと思う点を教えてください。 ※複数回答	年代				頻度		中心部 居住者		
		回答数	回答率(%) ※回答率順	10代・20代	30代	40代	50代以上		高頻度	低頻度
4	公共施設や生活に必要な施設が集まっている	109	47.8	32.1	29.4	40.8	64.2	50.9	37.7	55.6
1	自然が身近にあり、季節を感じられる	90	39.5	42.9	32.4	31.0	47.4	40.6	35.8	66.7
2	落ち着いて過ごせる雰囲気がある	84	36.8	39.3	50.0	29.6	36.8	37.1	35.8	33.3
3	歩いて回りやすく、移動しやすい	52	22.8	21.4	17.6	22.5	25.3	22.3	24.5	44.4
5	イベントや活動が行われている	40	17.5	14.3	17.6	19.7	16.8	18.3	15.1	11.1
8	とくにない	27	11.8	7.1	14.7	18.3	7.4	9.1	20.8	11.1
6	歴史や文化を感じられる	11	4.8	0.0	8.8	2.8	6.3	5.1	3.8	33.3
7	その他	8	3.5	0.0	8.8	2.8	3.2	3.4	3.8	0.0
	合計	228		28	34	71	95	175	53	9

- ・中軽井沢エリア中心部の魅力は、「公共施設や生活に必要な施設が集まっている」が47.8%で最多、次いで「自然が身近にあり、季節を感じられる」が39.5%、「落ち着いて過ごせる雰囲気がある」が36.8%であった。これら3項目が3割を超えており、生活利便性と自然環境の両方が評価されている。
- ・年代別の最多項目は、10代・20代が「自然が身近にあり、季節を感じられる」(42.9%)、30代が「落ち着いて過ごせる雰囲気がある」(50%)、50代以上が「公共施設や生活に必要な施設が集まっている」(64.2%)で、特に50代以上は他の年代より突出して高く、年代により魅力の捉え方に差異がみられた。
- ・中心部の居住者では、「歩いて回りやすく、移動しやすい」(44.4%)や「歴史や文化を感じられる」(33.3%)も高く、評価する魅力の幅が広いことがうかがえる。

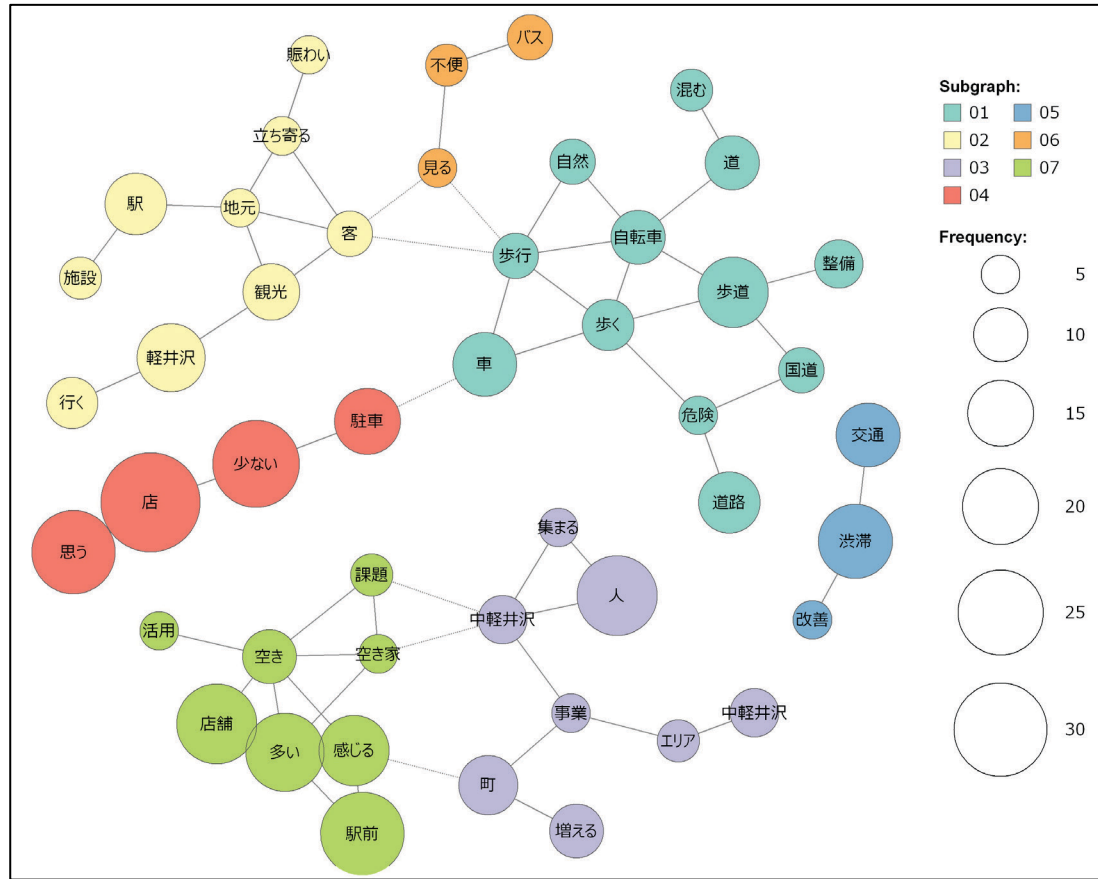
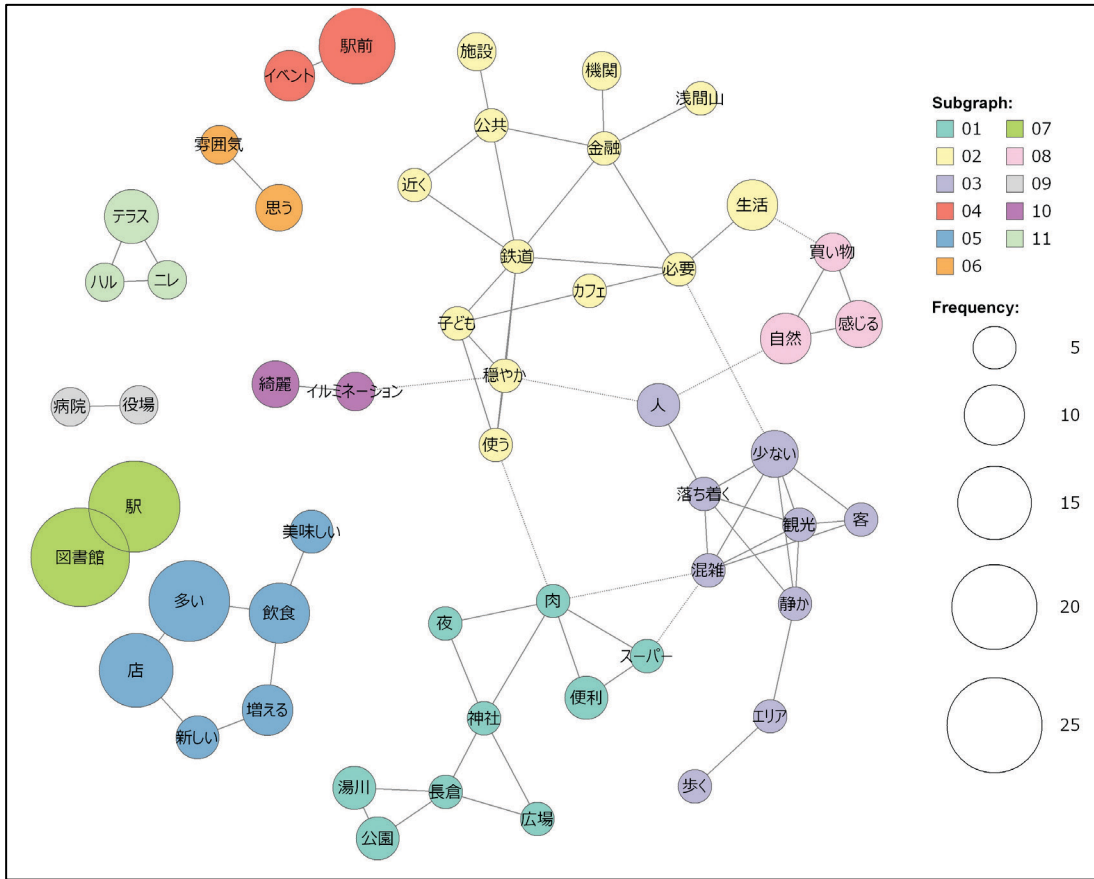
## ③ 課題・改善してほしい点

問13	中軽井沢エリアの中心部の課題だと感じる点、改善してほしい点を教えてください。 ※複数回答	年代				頻度		中心部 居住者	
		回答数	回答率(%) ※回答率順	10代・20代	30代	40代	50代以上		高頻度
1	立ち寄れる店舗や居場所が少ない	130	57.0	53.6	47.1	59.2	60.0	56.0	60.4
4	交通・駐車場の不便	99	43.4	46.4	52.9	45.1	37.9	43.4	43.4
2	にぎわいを感じにくい	88	38.6	28.6	35.3	46.5	36.8	40.0	34.0
5	景観やまちなみのまとまりがない	71	31.1	21.4	23.5	31.0	36.8	29.1	37.7
7	情報発信や案内が少ない	56	24.6	14.3	20.6	31.0	24.2	22.9	30.2
3	歩きにくい・自転車で移動しにくい	54	23.7	21.4	38.2	23.9	18.9	22.3	28.3
6	湯川や水辺を身近に感じにくい	46	20.2	0.0	11.8	23.9	26.3	19.4	22.6
8	その他	20	8.8	7.1	2.9	9.9	10.5	9.1	7.5
9	とくにない	10	4.4	7.1	5.9	4.2	3.2	4.0	5.7
	合計	228		28	34	71	95	175	53

- ・中軽井沢エリア中心部の課題は、「立ち寄れる店舗や居場所が少ない」が57.0%と突出して高く、次いで「交通・駐車場の不便」が43.4%、「にぎわいを感じにくい」が38.6%、「景観やまちなみのまとまりがない」が31.3%で、3割以上の項目は魅力よりも多い結果となった。
- ・年代別では、「立ち寄れる店舗や居場所が少ない」は40代以上、「交通・駐車場の不便」は30代、「にぎわいを感じにくい」は40代で、それぞれ他の年代より高い。また、30代では「歩きにくい・自転車で移動しにくい」が38.2%で、全体より15ポイント近く高い結果となっている。さらに、40代以上は「湯川や水辺を身近に感じにくい」が2割以上であるのに対し、30代は約1割、10代・20代は0%という大きな認識の違いもみられた。

## ② 中軽井沢エリア中心部の魅力

## ③ 中軽井沢エリア中心部の課題・改善してほしい点



中軽井沢エリア中心部の魅力及び課題等に関する記述回答のテキストマイニング※の結果

※テキストマイニングとは、アンケートの自由記述やSNS、口コミなどの大量の文章データを単語や文節に分解し、出現頻度や相関関係を分析して有益な知見を掘り起こす技術・手法のことをいい、上図において、単語同士をつなぐ線が太いほど共起回数が多く（一緒に使われる頻度や関連性が強く）、円が大きいほどその単語の出現頻度が高いことを示しています。

- ・中軽井沢エリア中心部の魅力に関する記述回答のテキストマイニングの結果をみると、「駅」や「図書館」、「飲食」などの生活利便施設に関する語が多くみられ、日常生活のやすさが評価されている。
- ・「店」「飲食」「新しい」「増える」といった語のつながりから、商業機能の充実に対する一定の評価もうかがえる。
- ・「長倉」「神社」「湯川」といった地域資源に加え、「自然」「静か」「落ち着く」といった語群から、日常生活の利便性と自然環境、落ち着いた雰囲気が魅力として認識されていることがわかる。

- ・同じく課題に関する記述回答のテキストマイニングの結果をみると、「店」「駐車場」「少ない」といった語の結びつきが強く、商業機能の不足が主要な課題として挙げられる。
- ・「空き家」「空き店舗」「活用」などから、未利用資源の増加と活用不足も課題として読みとれる。
- ・交通面では、「歩道」「自転車」「危険」などから安全性への懸念や、「渋滞」「バス」「不便」から移動のやすさや公共交通の課題も読みとれる。

#### ④ 今後増えるとよいと思う過ごし方

問15	中軽井沢エリアの中心部で、今後増えるとよいと思う「過ごし方」はどれですか。 ※複数回答	回答数		年代				頻度	
		回答数	回答率(%) ※回答率順	10代・20代	30代	40代	50代以上	高頻度	低頻度
3	お店を巡りながら、買い物や飲食を楽しむ	150	65.8	53.6	64.7	77.5	61.1	64.6	69.8
1	中軽井沢駅や町役場を起点に、歩いて周辺を回遊・散策する	112	49.1	46.4	44.1	46.5	53.7	49.7	47.2
2	湯川や自然を感じながら、ゆったり過ごす	111	48.7	32.1	41.2	50.7	54.7	45.7	58.5
5	若者や学生が気軽に集い、活動や発表など地域と関わる	83	36.4	50.0	32.4	38.0	32.6	40.0	24.5
6	子どもが遊び、保護者も安心して過ごせる	82	36.0	39.3	52.9	43.7	23.2	40.0	22.6
7	イベントや催しをきっかけに訪れる	70	30.7	35.7	29.4	33.8	27.4	31.4	28.3
4	仕事や活動の拠点として過ごす	65	28.5	21.4	29.4	35.2	25.3	29.1	26.4
8	その他	6	2.6	0.0	0.0	1.4	5.3	3.4	0.0
9	とくにない	6	2.6	3.6	0.0	2.8	3.2	1.7	5.7
	合計	228		28	34	71	95	175	53

- ・中軽井沢エリア中心部で今後増えるとよいと思う過ごし方としては、「お店を巡りながら買い物や飲食を楽しむ」が65.8%で突出して高く、次いで高かったのが「中軽井沢駅や町役場を起点に、歩いて周辺を回遊・散策する」が49.1%、「湯川や自然を感じながら、ゆったり過ごす」が48.7%となっている。これら以外の具体的な内容を示した項目もいずれも2割後半から3割以上の回答を得た。
- ・年代別にみると、「お店を巡りながら買い物や飲食を楽しむ」以外で10代・20代で5割以上は「若者や学生が気軽に集い、活動や発表など地域と関わる」、30代では「子どもが遊び、保護者も安心して過ごせる」、40代以上は「湯川や自然を感じながら、ゆったり過ごす」、50代以上はこれに加えて「中軽井沢駅や町役場を起点に、歩いて周辺を回遊・散策する」がいずれも5割以上で、年代によりニーズが異なること、移り変わることがうかがえる。
- ・来訪頻度が高い方が、低い方よりもほとんどの項目で比率が高く、ニーズの幅が広くなくことがうかがえる。

#### ⑤ まちづくりの方向性

問17	中軽井沢エリアの中心部は、今後どのようなまちになってほしいですか。 ※複数回答(4つまで)	回答数		年代				頻度	
		回答数	回答率(%) ※回答率順	10代・20代	30代	40代	50代以上	高頻度	低頻度
1	歩いて楽しく、回遊や散策を楽しめるまち	140	61.4	64.3	47.1	64.8	63.2	64.6	50.9
2	日常的に使いやすい生活の拠点となるまち	127	55.7	42.9	61.8	56.3	56.8	57.1	50.9
4	湯川や自然、景観を活かしたまち	104	45.6	21.4	29.4	52.1	53.7	43.4	52.8
7	活気がありながらも落ち着いた雰囲気のみち	104	45.6	39.3	50.0	42.3	48.4	45.7	45.3
3	観光客と住民が共存できるまち	74	32.5	46.4	38.2	22.5	33.7	33.1	30.2
8	地域の人と交流できるまち	45	19.7	17.9	11.8	22.5	21.1	18.9	22.6
6	健康や癒しを感じられるまち	36	15.8	17.9	17.6	15.5	14.7	17.7	9.4
5	歴史・文化を感じられるまち	21	9.2	7.1	5.9	7.0	12.6	10.3	5.7
9	その他	3	1.3	0.0	2.9	0.0	2.1	1.1	1.9
	合計	228		28	34	71	95	175	53

- ・まちづくりの方向性については、「歩いて楽しく、回遊や散策を楽しめるまち」が最多で61.4%、次いで「日常的に使いやすい生活の拠点となるまち」が55.7%、「湯川や自然、景観を活かしたまち」が45.6%、「活気がありながらも落ち着いた雰囲気のみち」が45.6%で、上位4項目はいずれも高い比率であった。
- ・年代別にみると、30代では「日常的に使いやすい生活の拠点となるまち」が最多で61.8%であった。また、全体では5番目で32.5%だった「観光客と住民が共存できるまち」は、10代・20代では46.4%と高く、30代でも38.2%とやや高かった。他方、「湯川や自然、景観を活かしたまち」は、10代～30代が40代以上と比べて低い傾向がみられた。

## (4) ナカカルAPについて

### ① ナカカルAPの認知度

問18	ナカカルAPを知っていましたか。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	居住地			中心部 居住者	中心部 居住者以外
				町内	県内町外	県外		
1	ナカカルAPの活動を知っており、参加したことがある (または関心を持って情報を見ている)	46	20.2	20.1	22.2	11.1	33.3	19.6
2	名前は聞いたことはあるが、詳しくは知らない	63	27.6	31.0	17.8	11.1	0.0	28.8
3	今回初めて知った	119	52.2	48.9	60.0	77.8	66.7	51.6
	合計	228		174	45	9	9	219

・ナカカルAPを「今回初めて知った」は52.2%で最多だったものの、「ナカカルAPの活動を知っており、参加したことがある」、「名前は聞いたことがあるが詳しくは知らない」を合わせると47.8%であり、設立から半年未満で5割近くにナカカルAPの名前が知られていることがわかった。

### ② ナカカルAPの活動への関心度

問19	今後、ナカカルAPの取組にご関心はありますか。 ※択一回答	回答数	回答率(%) ※選択肢順	居住地			中心部 居住者	中心部 居住者以外
				町内	県内町外	県外		
1	とても関心がある	85	37.3	38.5	33.3	33.3	44.4	37.0
2	少し関心がある	117	51.3	50.6	51.1	66.7	44.4	51.6
3	関心がない	26	11.4	10.9	15.6	0.0	11.1	11.4
	合計	228		174	45	9	9	219

・ナカカルAPの活動への関心度は、「とても関心がある」が37.3%、「少し関心がある」が51.3%で、合わせて9割近くが関心を持っていることがわかった。

### ③ 関心のあるテーマ

問20	問19で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます。関心のあるテーマがあれば教えてください。 ※複数回答	回答数	回答率(%) ※回答率順	年代			
				10代・20代	30代	40代	50代以上
2	交通・移動手段の工夫(モビリティなど)	109	54.0	48.0	50.0	52.4	58.1
1	まち歩き・回遊性を高める取組	108	53.5	56.0	50.0	52.4	54.7
3	景観や街並み、建物・空間デザインの工夫	101	50.0	36.0	32.1	52.4	58.1
5	湯川や自然を活かした取組(親水空間、農園、自然体験など)	87	43.1	32.0	17.9	47.6	51.2
4	イベント・にぎわいづくり	78	38.6	32.0	46.4	46.0	32.6
6	新しいサービスや事業(スタートアップ、起業など)	60	29.7	32.0	32.1	30.2	27.9
7	その他	9	4.5	0.0	10.7	4.8	3.5
8	とくにない	4	2.0	12.0	0.0	0.0	1.2
	問19で「1」「2」と回答した方の合計	202		25	28	63	86

・関心のあるテーマとしては、「交通・移動手段の工夫(モビリティなど)」が54.0%と最も高く、次いで「まち歩き・回遊性を高める取組」が53.1%、「景観や街並み、建物・空間デザインの工夫」が50.0%、「湯川や自然を活かした取組」が43.1%、「イベント・にぎわいづくり」が38.6%、「新しいサービスや事業」が29.7%で、比較的幅広いテーマに関心があることがわかった。

・年代別にみると特徴がみられ、10代・20代は「まち歩き・回遊性を高める取組」が最多、30代・40代は「イベント・にぎわいづくり」への関心が他の年代より高く、40代以上では「景観や街並み、建物・空間デザインの工夫」や「湯川や自然を活かした取組」への関心が高い傾向がみられた。